

## Lesson37

被動動詞 (V 受身形) 「V れる」「V られる」→被動助動詞

I グループ⇒把「う段」音改成「あ」段音＋「れる」

II グループ⇒「る」改成「られる」

III グループ⇒ 来<sup>く</sup>る⇒来<sup>こ</sup>られる      する⇒される

被動動詞句

|                                  |
|----------------------------------|
| 名詞 1 (人) は 名詞 2 (人) に + 被動動詞 (V) |
|----------------------------------|

直述句

被動動詞句

1) 先生<sup>せんせい</sup>は 私<sup>わたし</sup> を褒<sup>ほ</sup>めました。→ 私<sup>わたし</sup>は 先生<sup>せんせい</sup> に褒<sup>ほ</sup>められました。

↑行為者 A (A 誇獎 B)

↑接受行為者 B (B 被 A 誇獎)

先生<sup>せんせい</sup>は 私<sup>わたし</sup> を叱<sup>しか</sup>りました。→ 私<sup>わたし</sup>は 先生<sup>せんせい</sup> に叱<sup>しか</sup>られました。

↑行為者 A (A 責罵 B)

↑接受行為者 B (B 被 A 責罵)

2) 主任<sup>しゅにん</sup>は 私<sup>わたし</sup> に質問<sup>しつもん</sup>をしました。

→ 私<sup>わたし</sup>は 主任<sup>しゅにん</sup> に質問<sup>しつもん</sup>をされました。

3) 学生<sup>がくせい</sup>は 木村先生<sup>きむらせんせい</sup> を尊敬<sup>そんけい</sup>しています。

→木村先生<sup>きむらせんせい</sup>は 学生<sup>がくせい</sup> に尊敬<sup>そんけい</sup>されています。

4) あの先生<sup>せんせい</sup>は 学生<sup>がくせい</sup>に 尊敬<sup>そんけい</sup>されています。

- 5) やまだ 山田さんは、ときどき せんせい 先生 **に** しか 叱られます。
- 6) おかしいことを いったので、(わたし は) みんな **に** わら 笑われました。

以上例句中分別以助詞「を」、「に」表現的「接受行為的人（名詞 1）」

表: 非関個人利害的、無情物或抽象事物受到某動作之「被動」

例)

- ・ この 仕事 は じょせい 女性 に きら 嫌われています。
- ・ じゅうはっさいみまん 十八歳 未満 の ひと 人の かつえん 喫煙 は ほうりつ 法律 で きん 禁じられています。
- ・ まちじゅう 町中 が ゆき 雪 に おお 覆われています。

※被動動詞句常使用於非関個人利害的社会現象或自然界的現象

|                               |
|-------------------------------|
| 名詞 1 は 名詞 2 (人) によって 被動動詞 (V) |
|-------------------------------|

- ・ げんじ 源氏 物語 は むらさきしきぶ 紫式部 に よって か 書かれました。
- ・ でんわ 電話 は ベル に よって はつめい 発明 されました。

※ 「 か 書く 、 はつめい 発明 する 、 はっけん 発見 する 」

行為者不用「に」、而是「 に よって 」表示

|                 |
|-----------------|
| 名詞から／名詞で つくられます |
|-----------------|

- ・ お酒 は さけ 米 から こめ つく 造られます → 原料 (化学)

・日本にほんの家いえは木きでつく造られます → 材料（物理）  
作られます